平成27年度一般入学試験問題

国　　語

（2月8日）

開始時刻　　午後1時00分
終了時刻　　午後2時00分

注 意 事 項

1. **試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。**
2. この冊子は19ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明及び解答用紙の汚れなどがあった場合には申し出てください。
3. **解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。**
   ① **受験番号欄**
   受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄に**マーク**してください。**正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。**
   ② **氏名欄**
   氏名と**フリガナを記入**してください。
4. 三 と 四 はいずれか一方を選択してください。両方解答した場合は高得点の方を合否判定に使用します。
5. 解答は解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、 10 と表示のある問いに対して ⓒと解答する場合は、次の(例)のように**解答番号**10の**解答欄**のⓒに**マーク**してください。
   (例)

10	ⓐ	ⓑ	ⓒ	ⓓ	ⓔ

6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

一

次の文章を読んで、後の**問一**～**九**に答えなさい。

桜に桜をこえた何かを見出し、そこに桜らしさの根拠を求める。敗戦後もその語り方は根底的に変わったわけではない。

X　戦後は戦前のたんなるつづきでもなければ、くり返しでもない。

戦後のソメイヨシノの歩みを一言で表すとすれば、「拡散」というのが一番ぴったりする。まず何よりも樹の数が爆発的にふえる。ソメイヨシノ拡大の話は敗戦までで終わることが多いが、この桜を本当にあちこちで見かけるようになるのは戦後である。新設の学校の校庭や小公園、暗渠（あんきょ）、住宅地の街路。そんな身近な空間にも、ソメイヨシノは進出していった。

Y　高度成長のなかで、都市でも農村でも旧（ふる）い建物がこわされ、地面がほりかえされ、土地が名前をかえていった。旧い地名が削られ、記憶が消されていく。その後を追いかけるように、小さな桜の名所があちこちにできていった。まるで引き裂かれ、傷だらけになった裸顔を厚い化粧で覆いかくすように。成長が速く、周りをぬりつぶすノウミツな花をつけるこの桜の特性が最も活かされたのは、戦前の記念公園づくりよりも、戦後の列島改造かもしれない。

A由緒を背負う桜がはっきり目立たなくなるのも敗戦の後からである。佐藤太平『櫻（さくら）の日本』でみると、昭和一〇年（一九三五年）に東京市内に現存する桜の名所三六ヶ所のうち、由緒型は一七ヶ所で、ほぼ半数を占める。ソメイヨシノ流行の発信地だったこの都市でさえ、昔ながらの名所はまだかなり生き残っていた。桜の名所といえば無名のソメイヨシノの樹がたくさん、というのは戦後の常識なのだ。

土地をぬりかえていく桜。それは裏返せば、新しい「故郷」づくりでもあった。土地の記憶は新来者をはじく力となる。戦後の都市が旧い地名や記憶を失っていったのは、それだけ多くの人間が都市に移り住まなければならなかったからでもある。そんな新来者にとって、旧い記憶を消し去るソメイヨシノの並木は、「第二の故郷」を飾ってくれる花であった。戦前とはちがった形でだが、ソメイヨシノはやはりその新しさによって、新しい社会を彩ったのである。

そこにはこの桜の寿命も関わっている。ソメイヨシノは密集して植えた場合、五十年から七十年で枯れていく。十分に手入れをすれば百年以上もつ樹もあるが、ほとんどのソメイヨシノはあまり手入れをされず、枯れていった。

五十年から七十年。それはちょうど人一人の寿命と同じ長さである。事実、ソメイヨシノの一生は人間の一生とほぼ同じサイクルをたどる。十年余りでそれなりに見える花をつけ、二十年でハナザカリ（イ）を迎え、五十年をすぎた頃から衰えはじめ、七十年で枯れていく。日本の都市では、家も街路も住む人たちも五十年ぐらいしかもたない。

そのことがこの桜に独特（B）の時間感覚をあたえたように思う。ソメイヨシノは一個人の歴史に結びつきやすい。自分だけの想い、自分だけの出来事の記憶を託すのにちょうどよい花なのだ。それに対して、もっと寿命が長い桜は、個人をこえてつづくもの、例えば家やムラ、町の歴史に結びつきやすい。ヤマザクラは寿命がほぼ二百年ぐらい、立派な花がつくのも二十年かかる。ヤマザクラは人間が二代かかって育てる桜なのだ。C エドヒガン系になると、もっと寿命が長い。古木といわれる樹は樹齢数百年。ムラや町そのものと同じぐらい長く生きる。町や村のはじまりの記憶、「故事来歴」や由緒を背負う桜になりやすい。

それゆえ、昔の記憶を自分のものとして引き継ぐ人間がいなくなれば、由緒ある名桜も消えていく。人が保持する記憶の時間幅が数十年になる。一人の人間が経験した出来事の意味や想いは、原則として、その当人だけで終わる。誰もそれを無理に継がなくてもよい。

近代社会ではそういう形で意味や感情が個人化されていく。それがソメイヨシノ普及の力にもなっていた。個人化の流れは明治の近代社会のドウ（ウ）ニュウとともにはじまるが、戦後になって急激に拡大していく。旧い土地の記憶を消し去った跡にソメイヨシノが植えられたのにも、そういう理由があったのではないか。

それはもう一面では物語の拡散でもあった。

ソメイヨシノ拡大の話が戦前で終わりがちなのは、戦後になると国家やイデオロギーといった「大きな物語」を見つけにくくなるからでもある。裏返せば、桜の向こうに強い観念を見出す語りの圏内に私たちは今もいるわけだが、D 大きな物語の見つけにくさは、一つにはソメイヨシノの量的拡散の結果でもある。

大きな物語は特別に強い意味を主張する。 Z　それに結びつく記念物（モニュメント）やアイテムも特別な何かでなければならない。明治の初めの流行りはじめた頃ならば、ソメイヨシノも新奇な桜で、伝統的な美しさをまったく新たな形で実現した花だったから、その要請に応えることもできただろうが、あたりまえのものになれば、新奇さはどうしても薄らいでいく。

建造物であれば、新たな様式で建てかえていくことができる。人間であれば、旧い世代は自動的に老い、新しい世代が登場してくる。どちらも、時代にあわせて様式更新（モデルチェンジ）できるが、桜はかんたんには取り換えられない。

E それは本当は戦後にはじまったことではない。ソメイヨシノが拡大していく途上で、つねに起こりつづけてきた。ソメイヨシノの拡大につれて、ソメイヨシノではなくヤマザクラの方が桜の原点として、いわば桜なるものの意味の源泉とされたのも、そういう表象（注2）の力学が働いたからかもしれない。逆にいえば、原点になれない、明確な焦点を結べない点で、拡散するソメイヨシノは戦後らしい桜となった。

戦後の桜語りのなかで、桜に深い意味を求める様式が広く普及する一方で、語られる内容は大きく散乱していく。いわば一人一人が思い思いに、F 桜に深い意味を見出すようになっていったのである。

（佐藤俊樹『桜が創った「日本」―ソメイヨシノ起源への旅―』による。設問の関係上、本文を改めたところがある。）

（注）1　暗渠――地下に埋設したり覆いをかぶせたりして、上から見えないようにした水路。
2　表象――象徴。知覚に基づいて心に思い浮かべる外界の対象のイメージ。

問一　傍線部ア～ウと同じ漢字を含むものを、次の各群のⓐ～ⓔからそれぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、アが 1 、イが 2 、ウが 3 。

ア　ノウミツ
ⓐ ノウリに浮かぶ情景
ⓑ 墨でノウタンをつける
ⓒ ノウガキを並べ立てる
ⓓ ポンノウを断つ
ⓔ 夏のノウリョウサイを行う

イ　ハナザカリ
ⓐ ケンセイを振るう
ⓑ 雑草のハンモした空き地
ⓒ 食欲がオウセイになる
ⓓ 勝利のエイカンを手にする
ⓔ サカマく波を乗り越える

ウ　ドウニュウ
ⓐ 字句のイドウを調べる
ⓑ 百万の観客をドウインした映画
ⓒ 心理を鋭くドウサツする
ⓓ 達成までのドウテイを振り返る
ⓔ ガイドが見学者をセンドウする

問二　文章中の空欄 X 、 Y 、 Z に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 4 。

ⓐ　X＝だから　Y＝特に　Z＝そして
ⓑ　X＝したがって　Y＝そして　Z＝そのため
ⓒ　X＝そもそも　Y＝また　Z＝しかし
ⓓ　X＝とはいえ　Y＝とりわけ　Z＝だから
ⓔ　X＝しかしながら　Y＝あるいは　Z＝むしろ

問三　傍線部A「由緒を背負う桜」とは何か。それを説明したものとして最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 5 。

ⓐ　受け継いできた土地の記憶や歴史を伝える桜
ⓑ　旧い土地の記憶を引き継いでいる故郷の桜
ⓒ　『櫻の日本』などの本に載るような桜
ⓓ　戦前にもてはやされた国家を象徴する桜
ⓔ　自分の想いを重ね合わせられる特別な桜

問四　傍線部B「独特の時間感覚をあたえた」結果どうなったのか。それを説明したものとして最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 6 。

ⓐ　桜が量的に拡散した後、桜が個人の歴史に結びつき、人々の時間の感覚を鈍らせるようになった。
ⓑ　個人の一生を桜の成長に重ね、桜のように美しく生き、ぱっと散ることを人は望むようになった。
ⓒ　昔の記憶を引き継ぎ、そこに新しい個人の記憶を加えて歴史の流れを桜に見出すようになった。
ⓓ　桜は、寿命が長いものは町の歴史と、寿命が短いものは人間の歴史と結びつくようになった。
ⓔ　個人の人生と桜の一生が結びつき、個人の出来事や記憶をその桜に重ね合わせるようになった。

問五　傍線部C「エドヒガン系になると、もっと寿命が長い」の「になると」と同じ意味・用法をもつ文はどれか。最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 7 。

ⓐ　彼の身になると、家を出たのもわかる気がする。
ⓑ　その辺の事情になると、私ではわからない。
ⓒ　参考になると、私のノートを持ち帰った。
ⓓ　ごろりと横になると、大きなあくびが出た。
ⓔ　二十歳を過ぎておとなになると、責任が増す。

問六　傍線部D「大きな物語の見つけにくさ」の理由は何か。最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 8 。

ⓐ　ソメイヨシノという桜が量的に拡散する中で、由緒あるヤマザクラが追いやられた結果、そこに担われていた国家やイデオロギーを思い出す機会がなくなってしまったから。
ⓑ　戦後は列島改造が行われ憲法や制度が新しくなり、もはや社会全体や国家のことを考えるよりも、個人としてどう生きるかということが大切にされるようになったから。
ⓒ　ソメイヨシノが量的に拡散した結果、桜は特別な何かを持たなくなり、個人の経験した出来事の意味や感情という小さな物語の方が桜に見出されるようになったから。
ⓓ　個人的な出来事の意味や感情がソメイヨシノに見出されるようになり、社会や国家に対する意味や感情はもはや桜の担うところではなく、別のものに代わられたから。
ⓔ　ソメイヨシノは量的に増えることでありふれた桜になってしまった結果、桜の原点という大きな物語を他の桜に譲ることになり、ただ個人の楽しみという面が強調されたから。

問七　傍線部E「それは本当は戦後にはじまったことではない」の「それ」が指し示す内容は何か。最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 9 。

ⓐ　物語の拡散
ⓑ　ソメイヨシノの拡散
ⓒ　ソメイヨシノの陳腐化
ⓓ　様式更新
ⓔ　大きな物語の欠如

問八　傍線部F「桜に深い意味を見出す」とはどういうことか。それを説明したものとして最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 10 。

ⓐ　桜は戦中戦後の歴史を生き抜いた特別な存在であると見なすこと。
ⓑ　桜は単なる桜ではなく、自分の人生の表象だととらえるということ。
ⓒ　桜に一人一人が思い思いに、人生の意味や目的を確かめるということ。
ⓓ　歴史の中で日本人が桜に託してきた想いや記憶を発見するということ。
ⓔ　個人にとっての特別な想いや記憶を桜に結びつけていくということ。

問九　この文章の前半に見出しをつけるとすると、どうなるか。最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 11 。

ⓐ　桜らしさの根拠
ⓑ　桜の個人化
ⓒ　新しい故郷づくり
ⓓ　花の時間と人の時間
ⓔ　ソメイヨシノの歴史

二

次の文章を読んで、後の**問一**～**七**に答えなさい。

ワールドカップ・ブラジル大会開幕まで、いよいよあと二か月あまりとなった。

ブラジル人と言えば、陽気で遊び心のあるユーモラスな人々というイメージを抱く人も多い。何を言う、ブラジル人ならだれもが陽気だなど、そんな言説は(注1)ステレオタイプに過ぎないと言う人もいるだろう。たしかに個人差はある。ブラジル人でも生真面目で暗い人はいる。それでもそのイメージは、ある一面とはいえ、けっこう「ブラジル文化」のカクシンをついているのではないかと最近は考えるようになっている。

ユーモアとは、人間の認知図式にある種のズレがもたらされたときに生じる W なおかしみだ。そのズレの矛先はたいがい規範や既成の価値観、すなわち常識に向かう。

たとえば「知的な方ですね」と褒められたときに、「いえいえ、とんでもないです……」とお決まりの謙遜文句を言うのではなく、「いえ、私の場合はやまいだれのほうで……」と答えると、それはキチにとんだ切り返しとなる。〝ふつう〟(＝常識)ではない返答が返ってきたことで意外性が生まれ、そこにユーモアが生じるのだ。【1】

このように規範や常識と、そこからのズレを愉しむのがユーモアなのだが、ブラジルの代表的な文化として称揚される事象を見ていると、どうもその図式、すなわち〈規範／常識〉⇒非・規範／常識〉が通底しているように思えてならない。【2】

たとえばブラジルのサッカー選手の特技として挙げられるマリーシア。勝っているときにボールを遠く蹴りだしたり選手交代をゆっくりと行ったりする時間稼ぎや上手なファウルといった狡いプレーから、ゴール手前での相手選手とのスリリングな駆け引きまで、その言葉の意味は広い。相手が右へ行くと思ったところを左へ行き絶妙にかわすのもマリーシアだ。【3】

このようなブラジル人サッカー選手の動きはまた「ジンガ」と言う言葉でも表現される。これはもともとカポエイラというブラジルの武芸の身体の動きを指す。カポエイラでは二人の選手らが、ビリンバウという楽器とコーラスのリズムに合わせて、身体を前後左右に動かし、互いに牽制しあいながら、相手の隙を狙って攻撃を加える。おもしろいのは、多くの武術では身体の中心に重心を据えることを重視するのに対し、カポエイラは逆に、いつでも攻撃をしかけたり身をかわしたりできるように、常に身体の力を抜き、重心をずらしておくことが重要だとされる。

またブラジルの代表的な音楽のサンバのリズムにもやはり同じような図式がある。サンバのリズムをとろうと思ったら、素直に拍に合わせて身体を動かさないほうがいい。拍の頭から入らずに一呼吸おいてからリズムに乗る、その微妙なずらしがコツだ。【4】

サンバの特徴のひとつにシンコペーションを多用するというものがある。シンコペーションという用語はよく使う言葉なので、あまり気に留めるこ

とはないかもしれないが、実はそれは「強拍と弱拍の位置を本来の場所からずらしてリズムに変化を与えること」で、言うなればこれも規範からのずらしである。結局、シンコペーションそのものが西洋のクラシック音楽の理論家によって打ち立てられた概念だから、それが［　X　］として捉えられたのであって、ブラジルの音楽の観点から見れば、これはイレギュラーでも掟破りでもなんでもなく、これも立派な[A]「正規」の拍なのだ。(注5)

ブラジルは、一五〇〇年にポルトガル[B]によって「発見」されて以来、ずっとヨーロッパの規範や制度を課されてきた。だが、ブラジルにはヨーロッパとは違う現実があったから、そのたびにズレが感知されることとなった。

二〇世紀初頭までブラジルはヨーロッパを理想とし、なんとかヨーロッパのようになりたいと願ってきたため、そうしたズレは恥として［　Y　］に捉えられてきた。諷刺画などでは、まさにそのズレが［　Z　］な笑いの対象となっていた。

だが一九二二年、「近代芸術週間」という催しで(注2)モデルニズモがそれに対して反撃ののろしを上げた。非ヨーロッパ、非アカデミズム、非伝統、非白人文化などを(注3)標榜したその運動では、それまでさげすまれてきた民衆文化が一気に「ブラジル文化」として表舞台に引き上げられた。それと同時に、それまで除でのみ実践されていた、(西洋の)規範や常識からのズレが、晴れて[C]「ずらしの美学」として花開いたのだった。

「遊び」にも仕事をしているときとは異なるズレのような部分が含まれる。サッカーにしても音楽にしても、ブラジルの文化には遊び心があるとはよく言われるが、それも理由がないことではないのではないか。

一見まったく関係がないと思われる二つの物事、領域、基準のあいだに共通点ないしは類似点を発見し、それらをひとつに結びつけるユーモアは、絶大な創造力を宿す。関連がなかった別々の精神活動や、相容れないとされた事象が結合することによって、そこから新たなアイディアが生み出されるからだ。それは学問や芸術においてばかりでなく、人間のあらゆる活動において[ウ]カツキ的なパラダイム(注4)の革新を引き起こす可能性を秘めている。それこそが底知れぬ潜在性を感じさせるブラジルの文化力である。

（武田千香『ずらしの美学』による。設問の関係上、本文を改めたところがある。）

（注）
1　ステレオタイプ――考え方や表現が型にはまっていて新鮮味がないこと。紋切り型。
2　モデルニズモ――スペイン語・ポルトガル語で「近代主義」の意。一八八〇年代から一九二〇年代にかけて、ラテンアメリカ各地で展開された芸術様式の近代化運動。
3　標榜――自分の主義・主張などを公然とかかげ示すこと。
4　パラダイム――ある時代や分野において支配的なものの考え方や認識の枠組みのこと。規範。

問一　傍線部ア～ウと同じ漢字を含むものを、次の各群のⓐ～ⓔから、それぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、アが［12］、イが［13］、ウが［14］。

ア　カ|クシン
ⓐ いよいよカ|クゴを決める
ⓑ 勝利をカ|クシンする
ⓒ 日本は議院ナイカ|ク制をとっている
ⓓ カ|クシキを重んずる家柄
ⓔ カ|ク兵器廃絶を目指す

イ　キ|チ
ⓐ フウキをまもる
ⓑ キ|センを制する
ⓒ 地球のキ|ドウ上を回る衛星
ⓓ キ|マツ考査に備える
ⓔ 試合をキ|ケンする

ウ　カ|ツキ
ⓐ 新しい事業にサンカ|クする
ⓑ 患者をカ|クリする
ⓒ 金メダルをカ|クトクする
ⓓ 領土をカ|ツジョウする
ⓔ 二つの案をヒカ|クする

問二　本文からは、「これらにはルールや常識からの逸脱という共通項がある。」という一文が抜き出されている。どこにもどしたらよいか。最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は［15］。

ⓐ 【1】
ⓑ 【2】
ⓒ 【3】
ⓓ 【4】
ⓔ 【5】

問三　文中の空欄［W］、［Y］、［Z］に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は［16］。

ⓐ W＝規範的　Y＝否定的　Z＝常識的
ⓑ W＝逆説的　Y＝常識的　Z＝規範的
ⓒ W＝自虐的　Y＝常識的　Z＝否定的
ⓓ W＝逆説的　Y＝否定的　Z＝自虐的
ⓔ W＝規範的　Y＝自虐的　Z＝逆説的

問四　文中の空欄［X］に入る言葉として最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は［17］。

ⓐ 特徴
ⓑ ズレ
ⓒ 規範
ⓓ 文化
ⓔ 遊び

問五　傍線部A「立派な」と同じ意味内容のものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は［18］。

ⓐ れっきとした
ⓑ 輝かしい
ⓒ 偉大な
ⓓ 華々しい
ⓔ 押しも押されもしない

問六　傍線部B「ポルトガルによって『発見』されて以来」において、〈発見〉が、かぎ括弧（「　」）で囲まれているのはなぜか。その理由として本文から読みとれる、最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は［19］。

ⓐ ポルトガル人によってブラジルは植民地にされたが、そのことを暗にからかうため。
ⓑ かつてポルトガル人みずからが、ブラジルを〈発見〉したと公言していたため。
ⓒ ブラジルの人々が、ポルトガルに〈発見〉されたことを誇りに思っていたため。
ⓓ ポルトガル人の到着以前からブラジルは存在し、独自の文化を持っていたことを示すため。
ⓔ 筆者はブラジルを心から愛しており、ブラジルを〈発見〉してくれたポルトガルに敬意を表するため。

問七　傍線部C「ずらしの美学」に関連して、本文で述べられていた内容とは**異なる意味合い**を持つものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は［20］。

ⓐ サーカスにおける「ピエロ（クラウン）」
ⓑ 和歌や俳句における「字余り」
ⓒ 音楽における「不協和音」
ⓓ 能や謡曲における「乱拍子」
ⓔ 映画やドラマにおける「悪役」

三 と **四** はいずれか一方を選択してください。両方解答した場合は高得点の方を合否判定に使用します。

三 次の文章を読んで、後の問一～八に答えなさい。

この東三条殿[A]、関白殿[A]との御仲ことに悪しきを、世の人[B]あやしきことに思ひきこえたり[C]。いかでこの大将をなくなしてばやとぞ、御心にかかりて大殿は思しけれど、いかでかは。東三条殿は、なほいかでこの中姫君を内に参らせん、いひもていけば何の恐ろしかるべきぞと思しとりて、人知れず思し急ぎけり。されどそのけしき[D]、人に見せ聞かせたまはず。

この堀河殿と東三条殿とは、ただ閑院をぞ隔てたりければ、東三条に参る馬車をば、大殿には「それ参りたり」「かれ参づなり」といふことを聞しめして、「それがれこそ追従するものは[E]あなれ」など、くせぐせしうのたまはすれば、いと恐ろしきことにて、夜などぞ忍びて参る[F]人もありける。さるべき仏神の御催しにや、東三条殿、なほいかで今日明日もこの女君参らせんなど思したつと、おのづから大殿閉じめして、「いとめざましき[G]ことなり。中宮のかくておはしますに、この大納言のかく思ひかくるもあさましうこそ。いかによろづにわれを呪ふらん」などいふことをさへ、つねにのたまはせければ、大納言殿いとわづらはしく思し絶えて、さりともおのづからと思しけり[H]。

（『栄花物語』）

（注）1　東三条殿――藤原兼家のこと。
2　関白殿――藤原兼通のこと。兼家の兄。

問一　傍線部A「東三条殿、関白殿」の二人は、本文中で別の名称で呼ばれているが、その組み合わせとして正しいものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 21 。

ⓐ　東三条殿＝大将・大納言　関白殿＝大殿・堀河殿
ⓑ　東三条殿＝大殿・大納言　関白殿＝大将・堀河殿
ⓒ　東三条殿＝大将・堀河殿　関白殿＝大殿・大納言
ⓓ　東三条殿＝大殿・堀河殿　関白殿＝大将・大納言
ⓔ　東三条殿＝大将・大殿　関白殿＝堀河殿・大納言

問二　傍線部B「あやしきこと」の現代語訳として最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 22 。

ⓐ　疑わしいこと
ⓑ　みすぼらしいこと
ⓒ　不思議なこと
ⓓ　いやしいこと
ⓔ　勝手なこと

問三　傍線部C「思ひきこえたり」の文法的解釈として最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 23 。

ⓐ　動詞「思ふ」の連用形＋尊敬の意の補助動詞「きこゆ」の連用形＋完了の助動詞「たり」の終止形
ⓑ　動詞「思ふ」の連体形＋謙譲の意の動詞「きこゆ」の連用形＋完了の助動詞「たり」の終止形
ⓒ　動詞「思ふ」の連用形＋尊敬の意の補助動詞「きこゆ」の連用形＋過去の助動詞「たり」の連体形
ⓓ　動詞「思ふ」の連用形＋謙譲の意の補助動詞「きこゆ」の連用形＋完了の助動詞「たり」の終止形
ⓔ　動詞「思ふ」の連用形＋尊敬の意の動詞「きこゆ」の未然形＋過去の助動詞「たり」の已然形

問四　傍線部D「けしき」の意味として最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 24 。

ⓐ　情趣
ⓑ　風景
ⓒ　容貌
ⓓ　気分
ⓔ　態度

問五　傍線部E「あなれ」の文法的解釈として最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 25 。

ⓐ　動詞「あり」の終止形に、断定の助動詞「なり」の命令形が付いた「あるなれ」の音便形「あんなれ」の「ん」を表記しない形
ⓑ　動詞「あり」の連体形に、推定の助動詞「なり」の命令形が付いた「あるなれ」の音便形「あんなれ」の「ん」を表記しない形
ⓒ　動詞「あり」の終止形に、推定の助動詞「なり」の已然形が付いた「あるなれ」の音便形「あんなれ」の「ん」を表記しない形
ⓓ　動詞「あり」の終止形に、推定の助動詞「なり」の命令形が付いた「あるなれ」の音便形「あんなれ」の「ん」を表記しない形
ⓔ　動詞「あり」の連体形に、推定の助動詞「なり」の已然形が付いた「あるなれ」の音便形「あんなれ」の「ん」を表記しない形

問六　傍線部F「忍びて参る」理由を説明したものとして最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 26 。

ⓐ　女性のところに通うのが常識であって、当時の一般の習俗にならったから。
ⓑ　大殿に知られると、いろいろな不都合があって、あからさまな訪問を避ける必要があったから。
ⓒ　心ならずも訪問する必要があって、周囲の人たちにあまり知られたくないという思いがあるから。
ⓓ　仏のところに通って祈るときには、誰かに知られると願いがかなわないとされていたから。
ⓔ　夜中の訪問となることなので、大げさにすると周囲の屋敷に迷惑がかかると考えたから。

問七　傍線部Gの形容詞「めざまし」を説明したものとして最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 27 。

ⓐ　自分の行く手をさえぎるように立ちはだかる相手を、好敵手として意識しているさま。
ⓑ　思いがけず優れた相手だったことに気がつき、優れた相手を賛嘆するさま。
ⓒ　相手が身のほどをわきまえず行動したことに対して、生意気で不愉快だと感じるさま。
ⓓ　安らかな眠りを妨げた相手に対し、嫌な思いをさせられたことを心から不快に思うさま。
ⓔ　相手がそれまでたいした働きをしていなかったので、急に活躍しだしたことに驚いているさま。

問八　傍線部H「さりともおのづから」と思っている内容として最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 28 。

ⓐ　いつの日か、相手と和解できて、兄弟が仲良く暮らせる日がくるだろう。
ⓑ　呪いをかけるような人間は、やがて自分から滅んでいくだろう。
ⓒ　積極的に動くことによって、相手が失脚する可能性が出てくるだろう。
ⓓ　そのうち自然に、娘が天皇の内裏に入る情勢になることもあるだろう。
ⓔ　黙っていてもいずれは、自分に重要な職務がまわってくるだろう。

四　次の文章を読んで、後の**問一**～**八**に答えなさい。（設問の関係上、返り点、送りがなを省いたところがある。）

斉王愀然変色曰、「然則奈何。」蘇秦曰、「臣聞古之善制事者、転禍為福、因C為功。大王誠能聴臣計、即帰燕之十城。」燕無故而得十城、必喜。秦王知以己之故而帰燕之十城、亦必喜。此所謂弃仇讐而得石交者也。夫燕・秦俱事斉、則大王号令、天下莫敢不聴。」

（『史記』巻六十九「蘇秦列伝」）

（注）1　蘇秦――戦国時代の弁論家。
　　2　仇讐――仇敵の関係。

問一　傍線部A「変色」の解釈として、最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 29 。

ⓐ　気色ばんで
ⓑ　色調を変えて
ⓒ　服を着替えて
ⓓ　顔色を変えて
ⓔ　目の色を変えて

問二　傍線部B「奈何」の読みとして、最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 30 。

ⓐ　なにゆえか
ⓑ　なんぞや
ⓒ　いかにす
ⓓ　いかにせむ
ⓔ　いかん

問三　空欄 C に入るものとして、最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 31 。

ⓐ　勝
ⓑ　敗
ⓒ　果
ⓓ　無
ⓔ　成

問四　傍線部D「計」の意味として、最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 32 。

ⓐ　計算
ⓑ　計画
ⓒ　計上
ⓓ　企画
ⓔ　計略

問五　傍線部E「無故」の解釈として、最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 33 。

ⓐ　事件もなく
ⓑ　事故もなく
ⓒ　理由もなく
ⓓ　原因もなく
ⓔ　結果もなく

問六　傍線部Fの返り点と平仮名による書き下し文の組み合わせで、最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 34 。

ⓐ　知以己之故而帰燕之十城
　しるにおのれのゆゑをもつてえんのじふじやうをかへすを
ⓑ　知レ以二己之故一而帰レ燕之十城一
　おのれのゆゑをもつてしてえんのじふじやうをかへすをしらば
ⓒ　知以己之故而帰燕之十城
　しるをもつておのれのゆゑとしえんのじふじやうをかへすを
ⓓ　知レ以己之故而帰二燕之十城一
　もつてしるおのれのゆゑにえんのじふじやうをかへすを
ⓔ　知以己之故而帰燕之十城
　しるをもつてのゆゑにえんのじふじやうをかへすのみ

問七　傍線部G「得石交者」は誰をさすか、最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 35 。

ⓐ　斉王
ⓑ　燕王
ⓒ　秦王
ⓓ　蘇秦
ⓔ　仇讐

問八　傍線部Hの解釈として、最も適切なものを、次のⓐ～ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 36 。

ⓐ　天下で聴く者などいない
ⓑ　天下で聴き入れる者はいない
ⓒ　天下で聴き入れない者はいない
ⓓ　天下で聴き入れたい者はいない
ⓔ　天下で聴き入れるべき者はいない